

平成22年度 いいたてデイサービスセンター（通所介護）事業計画  
《一般型デイサービス事業》

1. 基本方針

要介護者等の特性を踏まえて、ご利用者の有する能力に応じ、生きがいを持ち自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事の介助、その他生活全般にわたる支援及び機能訓練を行うことを目的とし、地域の関係機関との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供を行う。

2. 具体的な施策

(1) 重点強化項目

- ① ケアプランに基づくケアの実施（多職種協働による個別性を重視した援助計画作成）
- ② 職員のアセスメント力を磨き、サービス提供の質を高めていく。  
（ご利用者の声や表情、動作から真のニーズを探り、望む生活への支援やリスクの回避を図り生活意欲を高める）
- ③ ADLの強化と向上（アクティビティー、生活動作訓練により個別ケアの充実を図る）
- ④ 自分らしく過ごすことができるよう口腔ケアの充実を図る。  
（美味しく食べることにより、満足があり、喜びがあり、笑顔のある生活支援）

(2) 利用対象者

要介護状態にある高齢者等

(3) 事業内容

① 主な内容

ア. 送迎	イ. 食事	ウ. 入浴	エ. 機能訓練
オ. 生活相談	カ. 健康チェック	キ. 日常生活援助	

(4) 運営日

毎週月曜日・水曜日・木曜日とする。

(5) 重点強化項目

① ADLの強化と向上

ア. 心身の健康や身体機能の維持及びレベルアップを目指して、出来る限り体が動くように支援していく。（体操・日常動作訓練等、利用者のレベルに合ったレクリエーションを定例会などで見直していく）

イ. 個別口腔ケアの充実を図る。

（うがい、舌の運動、発声練習、嚥下体操等のプログラム作成、プログラムの実施）

② ご利用者同士の交流（アクティビティや趣味を生かした活動）

③ 地域ふれあい交流

外出する機会が少ないご利用者に、帰りの送迎を利用し、住み慣れた地域の名所を散策する（ルートの配慮、季節を感じる、地域交流）。

④ 毎月の行事食、喫茶は、ご利用者に好評なため継続していく。

(6) 年間行事

- ① 誕生会・・・毎月実施（利用者主体、参加型）
- ② ミニ運動会・・・年2回実施。

	内 容		内 容
4月	地域散策	10月	芋煮会
5月	花植え	11月	地域散策、ミニ運動会
6月	地域散策	12月	クリスマス会
7月		1月	書初め
8月	ミニ運動会	2月	節分
9月		3月	

(7) 職員の配置

この事業を行うため次の職員を置く。

施設長1人、生活相談員2人（1人兼務）、看護師・機能訓練指導員2人（1人兼務）、

介護員6人（3人兼務）、調理員1人、運転手1人

(8) 利用定員

1日20人の範囲内

平成22年度 いいたてデイサービスセンター（介護予防通所介護）事業計画  
《介護予防デイサービス事業》

1. 基本方針

ご利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことのできるよう援助に努めるとともに、心身の状況その置かれている環境等に応じて、ご利用者の選択に基づき人格を尊重し、常にご利用者の立場に立って資質を向上させ、質の高い真のサービスの提供を目指す。

2. 具体的な施策

(1) 重点強化項目

- ① ケアプランに基づくケアの実施（多職種協働による個別性を重視した援助計画作成）
- ② 職員のアセスメント力を磨き、サービス提供の質を高めていく。（ご利用者の声や表情、動作から真のニーズを探り、望む生活への支援やリスクの回避を図り生活意欲を高める）
- ③ ADLの強化と向上
  - ア. 運動機能の強化・日常の生活を生かした訓練の実施。  
（個別にアセスメントし、個人に合わせたメニューを実施、定期的に評価見直しを行い、日常生活の質の向上を図っていく）
  - イ. 自分らしく過ごすことができる様に口腔ケアの充実を図る。  
（おいしく食べることにより、満足があり、喜びがあり、笑顔のある生活支援）

(2) 利用対象者

要支援1, 2にある高齢者

(3) 事業内容

① 主な内容

- |         |           |           |         |
|---------|-----------|-----------|---------|
| ア. 送迎   | イ. 食事     | ウ. 入浴     | エ. 機能訓練 |
| オ. 生活相談 | カ. 健康チェック | キ. 日常生活援助 |         |

(4) 運営日

毎週火曜日・金曜日とする。

(5) 年間行事

- ① 誕生会・・・毎月実施（ご利用者主体、参加型）
- ② 体力測定・・・年4回実施。自身の体力・筋力の把握と次回の目標に利用する。
- ③ ふれあい交流
  - ア. 外出する機会が少ないご利用者に、帰りの送迎を利用し、住み慣れた地域の名所を散策する（ルートの配慮、季節を感じる、地域交流）。
  - イ. 買い物に出かける機会が少ないご利用者に、実際に買い物を体験していただく。  
（買い物の実体験による日常の生活、社会参加復活、地域交流、生活意欲を高め、身体能力の向上へつなげる）
- ④ 毎月の行事食・喫茶は、御利用者に好評なため継続していく。

(6) 年間行事

- ① 誕生会・・・毎月実施（利用者主体、参加型）
- ② ミニ運動会・・・年2回実施。

	内 容		内 容
4月	地域散策（花見）、体力測定	10月	芋煮会、体力測定
5月	花植え ミニ運動会	11月	地域散策（紅葉狩り） ミニ運動会（パン食い競争）
6月	買い物	12月	クリスマス会、体力測定
7月	体力測定	1月	書初め
8月	ミニ運動会	2月	節分
9月	買い物	3月	ひな祭り

(7) 職員の配置

- ① この事業を行うため次の職員を置くものとする。
- ② 施設長1人、生活相談員2人（1人兼務）、看護師・機能訓練指導員2人（1人兼務）、  
介護員6人（3人兼務）

(8) 利用定員

1日20人の範囲内

平成22年度 いいたてデイサービスセンター（地域密着型）事業計画  
《認知症対応型デイサービス事業》

1. 基本方針

ご利用者自身が生活する上で身の回りのことを支障なく出来るよう身体的、精神的に支援してご利用者様が自分らしく生活を送れる場を提供し、家庭、地域の中で役割を担って生きる喜びを分かち合い、ご利用者様が笑顔で過ごせるよう、家族との連携を常に図り質の高いサービスを提供します。

2. 具体的な施策

(1) 重点強化項目

- ① ケアプランに基づくケアの実施（職員の利用者担当制による個別処遇の提供）
- ② 生活動作の維持と向上・認知症の進行の予防（個別に沿ったサービスを提供）
- ③ ご利用者のペースに合わせて、安心できる雰囲気をつくり、利用者の意志を尊重するように努めます。
- ④ 園芸療法による野菜の栽培を実施し、利用者に種まきから収穫の喜びを実感していただきます。

(2) 利用対象者

要介護状態にある認知症高齢者

(3) 事業内容

- ① 送迎 送迎時に家族とのコミュニケーション（在宅での状態把握）を大切に、安心して利用していただけるように、介護職員が添乗しています。
- ② 食事 ご利用者の状態に合わせた食事（嗜好）を提供し、月毎の行事食（ぼたもち・選択食）によって食事への楽しみとして捉えたい。
- ③ 入浴 体調の変化に留意し、安全、快適な身体の清潔が保てる入浴をしていただけるように声かけ・見守り・介助を行います。
- ④ 余暇活動（脳内トレーニング）  
体操、ゲーム、音楽、パズル、ぬり絵、園芸（野菜づくり）、昔遊びや千切り絵の作成等を個々に応じたプログラムで対応できるようにしています。
- ⑤ 健康チェック 心身状態の観察を行うとともに、持参の薬の管理、服用の援助を行います。
- ⑥ 生活相談 日常生活における悩みごと等の相談を行います。

(4) 運営日

毎週月曜日から金曜日とする。

(5) 年間行事

- ① 誕生会・・・毎月実施（利用者主体、参加型）
- ② ミニ運動会・・・楽しく全員参加できる種目を考えて実施していきたい。
- ③ 毎日の空き時間を利用・・・午前、午後の時間を活用して紙工作や壁飾り等の作

成、レクリエーション・脳トレ・調理（栽培した野菜・菓子類）等を実施していきたい。

④ 地域ふれあい交流

ア．外出する機会が少ないご利用者に、帰りの送迎を利用し、住み慣れた地域の名所を散策する（ルートの配慮、季節を感じる、地域交流）。

イ．村内保育園児との交流により、普段交流の少ないご利用者の生活の活性化を図る。

（ルートの配慮、季節を感じる、地域交流）

	内 容		内 容
4月	地域散策	10月	芋煮会・紅葉見学
5月	花植え、ミニ運動会	11月	地域散策、ミニ運動会
6月	地域散策 春野菜づくり（トマト・葉物）	12月	クリスマス会、忘年会
7月	梅採り、梅漬け （収穫に応じて実施）	1月	書初め
8月	ミニ運動会	2月	節分
9月	秋野菜づくり（大根・蕪）	3月	ひな祭り

(6) 職員の配置

この事業を行うため次の職員を置くものとする。

施設長1人、生活相談員2人（1人兼務）、看護師・機能訓練指導員2人（1人兼務）、介護員6人（3人兼務）

(7) 利用定員

指定介護予防認知症対応型通所介護事業と併せ、1日12人の範囲内

平成22年度 いいたてデイサービスセンター（地域密着型介護予防）事業計画  
《介護予防認知症対応型デイサービス事業》

1. 基本方針

ご利用者自身が生活する上で身の回りのことを支障なく出来るよう身体的、精神的に支援してご利用者様が自分らしく生活を送れる場を提供し、家庭、地域の中で役割を担って生きる喜びを分かち合い、ご利用者様が笑顔で過ごせるよう、家族との連携を常に図り質の高いサービスを提供します。

2. 具体的な施策

(1) 重点強化項目

- ① ケアプランに基づくケアの実施（職員の利用者担当制による個別処遇の提供）
- ② 生活動作の維持と向上・認知症の進行の予防（個別に沿ったサービスを提供）
- ③ ご利用者のペースに合わせて、安心できる雰囲気をつくり、利用者の意志を尊重するように努めます。
- ④ 園芸療法による野菜の栽培を実施し、利用者に種まきから収穫の喜びを実感していただきます。

(2) 利用対象者

要支援1，2にある認知症高齢者

(3) 事業内容

- ① 送迎 送迎時に家族とのコミュニケーション（在宅での状態把握）を大切に、安心して利用していただけるように、介護職員が添乗しています。
- ② 食事 ご利用者の状態に合わせた食事（嗜好）を提供し、月毎の行事食（ぼたもち・選択食）によって食事への楽しみとして捉えたい。
- ③ 入浴 体調の変化に留意し、安全、快適な身体の清潔が保てる入浴をしていただけるように声かけ・見守り・介助を行います。
- ④ 余暇活動（脳内トレーニング）  
体操、ゲーム、音楽、パズル、園芸（野菜づくり）、昔遊びや千切り絵の作成等を個々に応じたプログラムで対応できるようにしています。
- ⑤ 健康チェック 心身状態の観察を行うとともに、持参の薬の管理、服用の援助を行います。
- ⑥ 生活相談 日常の生活における悩みごと等の相談を行います。

(4) 運営日

毎週月曜日から金曜日とする。

(5) 年間行事

- ① 誕生会・・・毎月実施（利用者主体、参加型）
- ② ミニ運動会・・・楽しく全員参加できる種目を考えて実施していきたい。
- ③ 毎日の空き時間を利用・・・午前、午後の時間を活用して壁飾り等の作成やレクリエーション・脳トレ・調理（栽培した野菜・菓子類）等を実施していきたい。

④ 地域ふれあい交流

ア. 外出する機会が少ないご利用者に、帰りの送迎を利用し、住み慣れた地域の名所を散策する（ルートへの配慮、季節を感じる、地域交流）。

イ. 村内保育園児との交流により、普段交流の少ないご利用者の生活の活性化を図る。

（ルートへの配慮、季節を感じる、地域交流）

	内 容		内 容
4月	地域散策	10月	芋煮会・紅葉見学
5月	花植え、ミニ運動会	11月	地域散策、ミニ運動会
6月	地域散策 春野菜づくり（トマト・葉物）	12月	クリスマス会 忘年会
7月	梅採り、梅漬け （収穫に応じて実施）	1月	書初め
8月	ミニ運動会	2月	節分
9月	秋野菜づくり（大根・蕪）	3月	ひな祭り

(6) 職員の配置

この事業を行うため次の職員を置くものとする。

施設長1人、生活相談員2人（1人兼務）、看護師・機能訓練指導員2人（1人兼務）、介護員6人（3人兼務）

(7) 利用定員

指定認知症対応型通所介護事業と併せ、1日12人の範囲内